

# オリブの会通信

مجموعة الزيتون

2021年4月21日第6号 (通巻12号)  
オリブの会  
大阪府豊能郡能勢町平通101-453  
tel/fax:072-737-9454  
mail: olivenokai\_zeiyun@yahoo.co.jp  
facebook:oribunokai



## イスラエルの選挙の結果について

イスラエルでは、2021年3月23日にこの2年間で4回目の選挙を行った。いずれの選挙もネタニヤフ首相の政権維持ができなかった結果として選挙になった

ネタニヤフは、汚職裁判を抱えながら、トランプ政権の政策に乗じて、イスラエルに有利な状況を作り出してきたこと。また、コロナ対策で、ワクチンの対応で賞賛を受けたことで、選挙で有利に立てるということを考え得ていた。

一方で、ネタニヤフの退陣をもとめる抗議行動が続いている。

イスラエルの政界は、シオニスト右派が優勢で、右翼政党が乱立している状態で、政権に長くあった労働党などのシオニスト左派は、少数派になってしまっている。アラブ系イスラエル人の政党は、前回の選挙でジョイントリストをつくり、15議席を獲得していたが、選挙前に分裂し、マンスール・アッバスのイスラム運動が抜けて、分裂選挙となった。

選挙結果は、リクードは議席を減らして、30議席となり、ネタニヤフ支持の右派の政党を合わせても52議席にしかならず、政権をつくることができず、反ネタニヤフは、57議席で、これも過半数に届かず、態度を決めていないのが、極右の「右翼党」(7議席)とアラブ系のマンスール・アッバスの統一リスト(4議席)である。リクードが、このアラブ系を取りこもうとし、共同リストの分裂もこの文脈にある。

選挙結果を受けたイスラエル大統領は、右翼党のベネット元競争大臣に組閣をさせようとしている報道もあったが、いずれも固まらず、アラブ政党もジョイントリストから、マンスール・アッバスのイスラム運動が抜けただけでなく、共同リスト(6議席)がラビッドが率いる反ネタニヤフ連合を支持することで、過半数にしようとしたが、共同リスト内部から反対の動きが出て、それも困難となっている。

イスラエル大統領は、再び、ネタニヤフに組閣の指名を行ったが、それが成立するのかは不明である。

イスラエルの議会は、右翼政党が乱立しており、パレスチナへの態度の違いは存在しないが、ネタニヤフをめぐる、ネタニヤフ支持派と反対派に分かれている。し

**オリブの会通信 第6号（通巻12号）**

たがって、右翼政党なのでイデオロギー的な対立などではなく、あくまで個人としてネタニヤフの指導を認めるかどうかにある。反ネタニヤフ派は、労働党などを含むがその議席数はわずかでしかない。大半は、ガンツの青と白連合とリクードから分裂した「新しい希望」、極右のリーパーマンの党などで、アラブ政党を取り込んで、過半数を得ようとしている。

ネタニヤフは、「あたらしい希望」などに秋波を送っているが、成立するかは不明である。

宗教的シオニストのストモリッチは、ネタニヤフの要請をマンスール・アッパスの統一リストが、閣外協力するのを、嫌って拒否した。連立はまたうまくいかない。

また、反ネタニヤフ派においても、右翼党のベネットが、ラビードが交代で首相を務めることに、共同リストは、ベネットが最初に首相にならないという条件で支持した。共同リストの中には、ベネットが入っている限り支持できないと参加しないものもある。

こうした状況の中で、ベネットが首相を直接選挙で選ぶ法案を提出すると言い出した。ネタニヤフも、それへのろうとしているが、混乱は深まっている。

第五回の総選挙は不可避になるだろう。

パレスチナにとっては、ネタニヤフ派、反ネタニヤフ派、どちらが勝とうが、右傾化しているイスラエル世論を渡えることができないだろう。そのうえ、アラブ系の諸党が連立に入ったとしてもパレスチナ人に有利にならない。

**【2021年3月 国会選挙の結果】**

政党・政党連合（下段は党首）	議席（前回比）
リクード	
（ピンヤミン・ネタニヤフ）	右派
30（-6）	
イエシュ・アティド	
（ヤイル・ラビード）	中道、反ネタニヤフ
17	
（*前回は青と白連合）	
シャス	
（アリエフ・デリ）	ユダヤ教超正統派、リクード
と連立予定	9（±0）
青と白	
（ピンヤミン・ガンツ）	中道、反ネタニヤフ
8（-25）	
右翼党	
（ナフタリ・ベネット）	右派
7（-1）	
労働	

（メラヴ・ミカエリ）	左派、反ネタニヤフ	
7（±0）		
（*前回は労働・ゲシム・メルグ連合）		
イスラエル・ベイテヌ		
（アヴィグドル・リーベルマン）	右派、反ネタニヤフ	
7（±0）		
トラー・ユダヤ連合		
（モシェ・ガフニ）	ユダヤ教超正統派、リクード	
と連立予定	7（±0）	
新しい希望		
（ギデオン・サアル）	右派、反ネタニヤフ	
新党、リクードから分離	6	
合同リスト		
（アイマン・オーデ）	アラブ系、反ネタニヤフ	
6（-9）		
宗教シオニズム		
（ベザレル・スモトリッチ）	極右	
6		
（*前回は右翼党）		
メレツ		
（ニツァン・ホロウィッツ）	左派、反ネタニヤフ	
6		
（*前回は労働・ゲシム・メルグ連合）		
ラアム		
（マンスール・アッパース）	アラブ系	
4		
（*前回は合同リスト）		
（出所）現地報道をもとに作成。		
ネタニヤフ派		態度決めていない
リクード	30	右翼党 7
シャス	9	宗教シオニズム 6
トラーユダヤ連合	7	
閣外		
統一リスト	4	
	50	
反ネタニヤフ派		
イエシュ・アティド	17	
青と白	8	
労働党	7	
イスラエル・ベティヌ	7	
あたらしい希望	6	
メレツ	6	
合同リスト	6	
	57	



## ネタニヤフは、政府の形成を阻止されるのか？

(PFLPのホームページからの転載)

ハニ・ハビブ

2年間で四回のクネセットの選挙結果は、それぞれの選挙後、政府の形成を阻止しているのは、イスラエル右翼そのものであることを証明した。唯一の首相候補としてのネタニヤフに従うか、イスラエルの右翼がこのアプローチを捨てさせても、政府は右翼からのものになるのは確かだろう。この政府は、新たな指導部をもつ、とくに、ネタニヤフを支持、反対するものがクネセットの議席の3分の2以上を得たものが勝利するから。ネタニヤフが次の政府を形成することに失敗することは、ベネット、リバーマン、サアー ガンツの反対派の右翼諸党の反対のためではない。彼らは、パレスチナ人とその大義についての立場は、すべて同意しており、また、宗教的右翼、リベラル、また、民族主義右翼は、ネタニヤフに対する立場の違いに比較すれば、重要性はもたない。すなわちネタニヤフ自身の個人の問題である。それは、彼が政府を形成するのに大きな障害を形成しており、それは、第五回目の選挙に導くだろう。

しかしながら、ネタニヤフを支持する強固なブロックの外にいる右翼諸党は、彼の指導性と政府の指導性に従うこのブロックを不安定にしている。その戦術は、彼を取り除き、彼が議席数を求めた時でさえ法的に彼が政府を形成するのを阻止した。不正行為の告発者を禁止する法律の制定を求めるとに再び戻ることによってこの努力が成功した場合、第5回目選挙に行くことを妨げる方法で政府を形成するために別の指導者を指名する可能性がある、そして何よりも、以前に委員会の呼びかけに棄権した現在のクネセト議長のアリ・レビンを除くステップが必要である。クネセト総会を召集して組織委員会を結成し、この法律の制定を目的とした立法プロセス

を開始するため、およびレビンを解任し、彼の代わりに新しいクネセト議長を選出する可能性は、現在の状況では有望であるように思われる。以前にこれに反対していた彼は彼らの立場から撤退しました、特にザール党のナンバーツの男、前大臣ゼエヴ・エルキンはその党が復活すると述べた。ネタニヤフの政府形成を妨げる法律を制定する可能性を検討し研究している。ネタニヤフに独占的に向けられた法律であることを考慮して、彼が以前にこれに反対した後、彼が刑事告発で裁判にかけられているので。しかし現在の政治状況と第4回立法選挙の結果はそれが第5回立法選挙に向けて滑らないように問題を再び研究する必要がある

このような法律を制定するためのこのアプローチの成功は、ネタニヤフが政府を形成することを防ぎ、イスラエルの右翼へ、ネタニヤフを取り除き、イスラエルの政治的および党の活動を支配したイメージからネタニヤフと彼に対する意見の不一致を取り除く、道を開くでしょう。それがイスラエルのガバナンスの危機とは、さまざまなイスラエルの政党の観点から、ネタニヤフと呼ばれる人物の危機です。

しかし、そのような法律の制定は、約束、助成金、賄賂を提供し、一部のメンバーを彼らの政党から脱退させることによって、一部の政党や政党ブロックに侵入するネタニヤフの能力と衝突します。政府を形成するために必要な議席、そしてネタニヤフの動きの推定では、今後数日で、彼は特にこの目標を達成することに焦点を当てます。

それにもかかわらず、ネタニヤフがそのような政府を形成することに成功したとしても、それは長くは続かな

## オリーブの会通信 第6号(通巻12号)

いかもしれず、常にその中のすべてのメンバーと政府連立のすべての党のブラックメールの対象となるでしょう、したがってこの連立のすべてのメンバーはいつでも首相のように政府を倒すことができ、そのため首相のままであるからです。圧力と恐喝の下で、各メンバーは政

府を形成するために必要な投票に達するために彼に依存しました、そしてこれは政府を形成すること自体が次の第5回立法選挙に向かわないことを意味しない。



(エルサレムの候補者、この後占領軍に逮捕された)

選挙が可能になったのは、トランプのもとで、オスロ合意でのイスラエルとの共同を行えば、自治権がなくなり、イスラエルによる西岸併合に進むということで、自治政府がいったんイスラエルとの治安共同などの、共同を否定したためである。

また、トランプのもとで、UAEなどのアラブ諸国との国交の「正常化」が進行され、パレスチナが孤立化されたためでもある。

ハマスは、カタール、トルコとの関係があるが、孤立化された状態であること。経済制裁封鎖から脱却するためにも選挙で統一政府となる必要がある。

統一の機運が高まり、選挙を行うことになったが、自治政府は、バイデン政権になったとたんに、イスラエルとの治安共同を再開した。それがパレスチナの分断を生み出してきたにも関わらず、米国との関係に期待している。

イスラエルは、選挙でハマスが勝利することを嫌っており、アッパースに圧力をかけて、ハマスの排除、ないしは、選挙の延期を要求している。

カイロでの民族の統一のための対話では、イスラム聖戦が選挙に参加しないことを宣言。人民戦線は、選挙に参加するが、保留の立場をとり、ハマスにも、ファタハにもくみせず、独自のリストで選挙に臨むとした。問題

となっているのは、オスロ合意の破棄を明確にすることをもとめていた。明確でないことで、イスラム聖戦は、不参加を表明、人民戦線は保留を表明した。

また、占領下エルサレムを選挙に参加させることを求めているが、イスラエルが認めていず、ハマスも、ファタハもエルサレムを抜きにして選挙はできないと主張した。しかし、占領当局は、エルサレムの候補者を、その出馬会見の前に拘束して、選挙を妨害している。

イスラエル、米国は、選挙によってふたたびハマスが勝利することを恐れており、ハマスの排除を自治政府に要求している。ファタハがパレスチナの民衆の意思と離れて、自らの権力を維持することを目的とするなら、前回のよう、ハマスが多数派になれば、イスラエル、米国のバックアップを背景に、クーデターを起こすかもしれない。

こうした状況から統一民族政府の樹立によるパレスチナ統一は容易ではない。

また、大統領選挙では、獄中のファタハ指導者のマルワン・バルグティへの世論の支持が高く、高齢のアブマーゼンの人気はない。しかし、ファタハは、マルワン・バルグティに出馬を断念させようと工作していた。バルグティは、ファタハではなく、独立した選挙リストで登録している。

イスラエルと同様に、パレスチナの政党においても、

左派は、ごく少数派になってしまっている。人民戦線は左派リストとして、獄中のアハド・サアダト氏や、政治局員のハリダ・ジャラル女史を筆頭にリストを作っているが、多数を得る可能性は少ない。

立法評議会

Al-Majlis al-Tashri'iyy al-Filastiniyy

役職

議長 アブドゥル=アズィーズ・ドゥエイク (ハマース)、

2006年より現職

野党代表 Azzam al-Ahmad (ファタハ)、

2006年より現職

構成

定数 132

院内勢力 与党 (74)

ハマース (74)

野党 (58)

ファタハ (45)

パレスチナ解放人民戦線 (3)

パレスチナ解放民主戦線 (1)

無所属のパレスチナ (2)

第三の道 (2)

無所属 (4)

選挙

選挙制度

大選挙区比例代表並立制

大選挙区 (66)

比例区 (66)

前回選挙 2006年1月25日

2021年4月22日の世論調査

ファタハ・リスト 41.9%

ハマース・リスト 20.9%

人民戦線リスト 8.4%

民主戦線リスト 5.4%

民族イニシアチブ・リスト 4.0%

人民党リスト 1.8%

以下略



2021年3月16日に投稿 | 10:22 (人民戦線のホームページより転載)

ハニ・アルマスリー

私はあなたと一緒にいるはずでしたが、不明な理由で招待されなかったのが、最初から最後の会議までカイロの対話のさまざまなラウンドに参加したことを推測するのは難しいことではありません。

いずれにせよ、私は常に、分裂が続き、パレスチナの制度が存在しない限り、対話を制度化し、その中で代表を拡大して、彼らに見合った女性と若者の代表を含めるように、論文、記事、セミナー、会議で要求してきました。代表者に加えて、規模と役割(数え切れないほどの数の女性と若者が対話に参加している)。さまざまなパレスチナ人コミュニティ、特に避難所やディアスポラ

のコミュニティについては、彼らの代表が本来あるべきよりもはるかに少ない。

パレスチナ国民全体が懸念する運命的な問題を扱う民族対話を、党派の代表者と、ランダムに選ばれた少数の独立者に限定することは適切ではなかった。ほとんどの党派はもはや重要な重みを表さず、どの選挙でも決定的な要因の割合を超えず、現在と未来の願望とより過去に属している。それは、次のように表すことができますその歴史の継承を代表するが、その重量に比例します。

最初: 立法選挙

数日後、選挙人名簿の提出の扉が開かれ、多くのファイルがまだ検討中です。特に、カイロでの前回の会議への応答の失敗が顕著です。それは合意された費用と保険

## オリブの会通信 第6号(通巻12号)

の削減、立候補年齢の引き下げに関する合意、女性の代表の割合を上げ、非判断の問題に取り組み、辞任することである。政府および公務員は、選挙の自由と完全性に影響を与える制限を課すことなく、選挙に参加する有権者の権利を確保することに密接に関連する問題ですが。

パレスチナ自治政府の選挙でパレスチナの大統領を選出することに関する改正選挙法の曖昧さを取り除くことを含め、前述の改正を行う機会はまだ熟している。これは、パレスチナ自治政府が述べている独立文書の直接の違反を構成する。どこにいてもパレスチナ人のためのものであり、パレスチナ自治政府の活動を規制する基本法です。

さらに悪いことに、組合と民衆組合選挙の6か月間の延期に関する法令の発布であり、この干渉はこれらの機関の活動には不適切であり、組合と民衆のある代表の問題に影響を与える。彼らの会議は民族評議会の完了日の前に開催されなければならない。

ガザ地区の事実上の当局の警察の適法性をめぐる法的な論争のために、どの警察がガザ地区の選挙本部の安全を提供するかなど、それが選挙の正当性に異議を唱えること生み出す未解決の問題があり、同じことが、ガザ地区の未承認の裁判所から判決を受けたガザ地区の候補者の非有罪証明書にも当てはまります。彼らは立候補することができるのか？

### 第二に：立法選挙の延期

次のようないくつかの理由で選挙を延期する可能性について、さまざまな情報源からの声明があります。

コロナウイルスの流行の拡大に関連するものは、コロナウイルスの流行に焦点を当て、それとの例外的な取り決めを課し、選挙人リストが、特に独立したリストに関して、協議、運動、会議を行うことを妨げます。

エルサレム市での選挙の実施に関するイスラエルの承認の取得の失敗、およびエルサレムの投票と指名による選挙への参加の権利を維持する適切な代替案についての合意の失敗。代替案、またはその郊外のエルサレムの人々による投票。これは、イスラエルの永遠の統一された首都としてのイスラエルの決定を拒否するエルサレムの主権に対するパレスチナの権利に影響を及ぼします。

ハマスの参加の危険性を考え、再び正当性を認め、再び勝利する可能性を背景に、選挙に否定的なイスラエルに合図を送り、国際刑事裁判所の調査を開始するためのパレスチナ人の支援に対する罰として、必要なファシリティを提供しないことによって調査を進めないことと引き換えに選挙の開催のトレードオフを企てている

問題をいまだに検討しているという選挙におけるアメリカがハマスの立場を明確にしていないこと。「テロリスト」に分類されるハマスの正当性、再勝利の可能性、西岸での移動の自由、そして彼らがカルテットの条件を認めないならば、そして組織へのハマスの参加を拒絶するならば、アメリカが取引する次の政府への参加の可能性を獲得することを懸念している。

ファタハとハマスの運動の違いを背景に、単一の民族リストと大統領候補の合意候補者の支持に関する以前の理解の安全性とその適用性についての不確実性があること。および投票に反映される可能性のある共同リストに対する広範な反対。それらは共同プログラムに関する合意にも、分裂の終了にも基づいておらず、それを終了する具体的な計画に同意しなかったためです。むしろ、現状の再現と分裂とその管理をそのままにし、おそらくそれを深め、2つの当局間で共有する方法で、選挙を設計し、その結果を確実にする試みにすぎません。国益よりも個人の利益を支配する方法、そして強力な独立したリストを形成する可能性は、計画されたものの成功の可能性を脅かします。

そして、選挙を延期するために状況が安定した場合、延期は1年を超えてはならず、並行して同時に適用される包括的なパッケージを解決するための合意を伴う必要があります。統一された機関と雰囲気を提供することによって選挙の準備をする統一政府または国民合意。信頼し、自由を広め、祖国での確固たる地位と人気の基盤を提供し、ガザの苦しみと分裂の堆積物を取り除き始め、海外にいる西岸地区の有権者とガザのアイデンティティ保有者約40万人の参加の準備をします。

また、議員を逮捕し、代表者を委任できるようにすることで、選挙結果に影響を与える占領当局の試みを防止または妨害する法律を可決することになっています。これにより、彼らを逮捕するという占領当局の目標が崩壊し、ブロックが拘留された代理人を置き換えることができます。

## オリーブの会通信 第6号 (通巻12号)

### 第三に：可能な限り選挙で国会を補うこと

インクルーシブな国家組織である解放機構の制度を再構築することは、参加を信じるさまざまな政治的および社会的スペクトルを含める必要があり、それらの議論を延期することは重大な間違いであったため、最優先事項および重要です。

包括的国家プロジェクトを再考せずに組織を復活させることは不可能であり、これには、まず、何よりもまず、紛争のパレスチナの歴史物語とパレスチナの国家の権利と目標を遵守し、次にこの協定が問題を矮小化し、人々を分割し、土地を分割し、パレスチナの指導者がその認識と引き換えにそして自己と大規模な譲歩をしたことに基づいて、パレスチナ人の権利を認めずに厳しい制限に拘束される統治権であるオスロ合意とその義務をできるだけ早く取り除く。

それにもかかわらず、オスロの失敗の責任を負っているのはイスラエルであり、それはずっと前にそれを通過したものであり、それが長年パレスチナ人と取引してきた政治的上限はオスロからでも完全に低いです、そしてその焦点は、ヨルダン川西岸の自治権力の単なる存続と引き換えに、ガザ地区の事実上の権威に対する包囲の存続と緩和と引き換えに安全を扱うことです。

この会議までの議論の延期を含め、国民議会を完了するために必要な準備をしなかったのは、民族評議会のメンバーシップを完了するための真剣さが不足しているためですが、この問題について議論する機会がありました。前回の会合でしたが、意志の欠如とそれについてのこの会合にとって「滑りやすい」問題で合意に達しないことへの恐れがあった。

選挙が行われる可能性のある海外の場所を決定し、有権者登録を作成し、パレスチナ人が居住する国と協議して承認を得て同意することは可能だったでしょう。選挙を実施するとともに、海外のパレスチナ人のための選挙委員会を設立し、選挙法を制定したり、改正後に現行法を採用したりすることも可能でした。

上記のすべてが起こらなかった限り、私たちはいくつかの可能性に直面しています。その中で最も重要なのは、民族評議会を完成させる段階に到達する意図がないことです。1、または党派のクォータ制、特に相互主義は、

以前に承認されたのと同じ原則に基づいて、または手段によって、海外の民族評議会の代表者を選択するために採用されます。それよりも悪いことであり、議会は忠誠心と信頼のある人々で溢れかえっているため、大統領と与党がこのプロセスを支配するでしょう。

以前にPLOで確立された原則を採用することはできません。むしろ、「PLOが半ばに設立されたときの状況とは根本的に異なるため、特に過去20年間に、地域、国際的な状況で起こった変革の要件をとる必要があります。そして60年代後半、そしてそれらはまた70年代と80年代に普及した条件と条件とは異なります」(マサラットセンターによって発行されたPLOの制度の再建に関する本)。

パレスチナの舞台での有効な諸勢力の構成は、組織が消滅または撤退するにつれて変化し、他の組織が出現し、そのうちの1つが最大のPLO組織を開くためのライバル組織に変貌しました。そして、組織への影響は、パレスチナ人の代表をめぐる争いの形をとらず、このシステムに所属する党派に依存するかどうか、あるいはパレスチナの政治的決定に影響を与えるための援助の使用に依存しませんでした。この期間中、PLOの機関は、それ自身が包囲され、意志、権力、および主権国家になる可能性を奪われた自治政府を支持して麻痺しました。

この新しい現実には、組織で採用された構成員の公式を、たとえそれが構成員の公式を維持していても、パレスチナ民族の情勢、その問題とニーズをフォローアップするための基礎として人口グループを採用する公式に、パレスチナ人の自己決定権を維持する必要のある普遍的または中心的な任務のために、これらの任務のための主要で包括的なガイドラインに置き換える必要性を引き起こします。

上記に基づいて、民族評議会の代表は、可能な限り選挙によって、そして選挙が行われない場合には客観的な原則と基準を採用することによって、さまざまなグループによって選ばれたすべてのパレスチナ地方からの代表者の参加を求めます。

たとえば、グループの代表者は、労働組合、政党、人民委員会、およびさまざまな学術、文化、経済機関の代表者が参加する会議を通じて選択できます。民族評議会の議会の代表者を選出し、コミュニティ、復帰委員会、

## オリーブの会通信 第6号(通巻12号)

人民議会、ボイコット運動グループなどを通じて認められた組織があります。

前述のことは、民族評議会は、直接かどうかにかかわらず、立法評議会のメンバー、レバノンやヨーロッパなどの選挙を行うことができる議会から選出されたメンバー、および代表者を含めて、その選出されたメンバーの最大数を含める必要があることを意味します。人民組合の数が少ないので、残りはわずかです。評議会メンバーの3分の1に到達する必要があります

未選出の割当については、合意された客観的および国家的基準に基づいて選択され、コンセンサスがある著名な法人、または選挙に異議を唱えなかった、または投票の割合を通過しなかった党派に割り当てられます。そしてそれは、パレスチナの人々が民族解放の段階を通過している限り、その歴史的役割の認識を表し、PLOを統治する専門的な基準、最前線の労働規則に準拠している必要がありますが、目的を達成していないメンバーで評議会を冗雑させることはありません。

そして、評議会の議員数を350人(海外200人は選出されない3分の1以下、国内150人、うち18人は選出されない)とすることで合意した場合、選出されていない人の数が増えるため、国内の評議会のメンバーの数を増やすことはお勧めできません。民主的な代表の本質は、特に内部に48年領内のパレスチナ人が含まれていないため、民族評議会で直接代表することができないためです。むしろ、組織とフォローアップ委員会の間には一種の効果的な調整が見られます。フォローアップ委員会は、国内のすべてのパレスチナ党派を含み、代表しています。

国民のアイデンティティと国民文化の促進に関するさまざまなパレスチナ人コミュニティからの参加者を含み、改ざんや浪費の試みに対して脆弱なパレスチナの歴史の物語を促進する、包括的で非代表的な民族文化の枠組みを作成することも可能です。

対処する必要があり、対処できる主なジレンマは次のとおりです。ハマスとイスラム聖戦はどのようにして民族評議会に参加できるのでしょうか。

第一に：目標、権利、価値観、行動規則、および闘争の形態を設定する民族憲章に同意する。特に、民族評議会

で「それを修正」しようとした後、民族協定はその正確な状況をもはや知らないため。クリントン米大統領が同席した1996年にガザ地区で開催された民族評議会、それを修正するプロセスは、それが直面した大きな反対と、殉教者のヤセル・アラファト大統領がプロセスを完了することを躊躇したために完了しませんでした。

第二に、ガザ地区の事実上の権威を終わらせ、それをパレスチナ自治政府と統合しなければ、ハマスが組織に入る可能性を想像することは不可能であり、特にセキュリティサービスにおいて、独占権、覇権、党派主義から離れて、これは制度を統一し、民族、専門家、参加型の基盤の上に再建する必要があります。

第三に：民族合意文書に含まれているように、パレスチナ人の抵抗する権利を遵守することに基づいて、またはこれらを含む民族勢力を形成することに同意することによって、異なる党派の軍事部門の単一の参照に同意する軍の翼であり、単一のコマンドと統一された戦略の対象となります。

最後に、パレスチナの大義を回復するための道であり、パレスチナの人々が経験している民族解放の段階と一致する、分裂を終わらせ、国の基盤における民族の団結、真の完全な参加、そして合意された民主主義を回復することを通して、あなたの会議が成功することを願っています。







## UAWCの2月レポート

農業労働委員会連合 (UAWC) は、2月の間に130本の木の根こそぎと数十回の攻撃を記録しました

2021-03-09

UAWCの農業委員会は、2月の間に、西岸地区とガザ地区のパレスチナ農業部門に対する数十件の攻撃を記録しました。ラマラ県のラスカルカー村にある没収されたアルリザン山の近くの彼の土地。入植者はまた、130本の突り多い木を根こそぎにし、ラマラ県のアルムガイヤー村のキルベトジベイトにある3つの集水井戸を破壊し、アルジフトリックの作物を灌漑するために使用された3つの水プールをブルドーザーで埋めた。

占領軍はまた、ヨルダン川西岸のさまざまな地域での土地の没収と居住地の拡大に対するデモを抑制するために、ゴムでコーティングされた金属弾を使用し、ガスを発射することに加えて、ヤッタとベツレヘムの3つのバラックに解体を通知しました市民の体に直接催涙弾が投下されたため、多くの人が負傷し、その他の人は窒息しました。

入植者グループは、ヤッタで家畜を放牧している間に羊飼いを攻撃するなど、エスカレートするペースで農民とその土地にさまざまな攻撃を行いました。別の入植者グループは、押収される地域が800ドゥナムである、ベツレヘムの東部砂漠に彼らのために集会所を設立する意向を発表しました。入植者は、サルフィート県のブルキン村で30本の突り多い柑橘類とオリーブの木を根こそぎにしました。そして、ベツレヘム県のアルワラジャ村で70本の突り多いオリーブの木を根こそぎにしました。彼らはまた、サルフィート県のカフルアルディーク村で他の30本のオリーブの木を根こそぎにしました。

パレスチナ人を居住者から避難させることを目的とした、パレスチナ人ヨルダン渓谷に対する占領政府の体系的な政策の継続。占領軍は2月にキリベトホームサを3回襲撃し、初めて、住民とその家畜のために28の家と施設を破壊して没収し、45人の子供を含む約90人の市民を追放した。2回目は、占領軍が羊小屋を解体して没収し、攻撃が続いて、住民とその家畜を収容する15のテ

ントが破壊されました。3回目の攻撃では、占領軍の攻撃により、羊を飼育および飼育するための17のテントが根こそぎにされ、納屋と水タンクが破壊されました。キリベトヤルザについては、ヨルダン渓谷で占領軍が11のバラックと羊の納屋を解体し、没収しました。

ガザ地区は、UAWCの農業委員会によって記録された約20の攻撃を目撃しました。これらの攻撃は、漁師とそのボートを狙った銃撃と起訴に加えて、彼らが彼らの土地にいる間、農民への銃撃に加えて、占領軍が農作物に農薬を散布することによって代表されました。

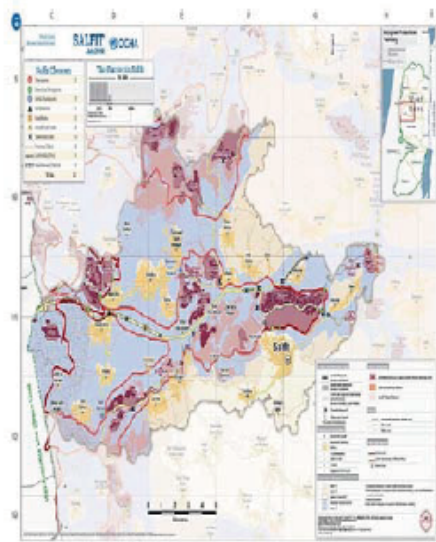


パレスチナ人は入植者の水が不足していない間、水滴を飲んでいます。  
2021-03-09

ハダラ・シュタイエー占領当局は、サルフィート県の水を盗み、2倍の価格で、合意された量よりも少ない量で所有者に再販売することにより、継続的な略奪と盗難の方針を追求しています。占領当局は、パレスチナ人が水滴を飲むかのように(スポイト)法を使用しています。これは、25の入植地と、大量の水を必要とする4つの工業地帯の大規模でノンストップの揚水とは対照的で、水の消費量の割合が高い。

2002年以降、サルフィート県の入植地拡大は400%に達しました。したがって、これは、果の水の入植地のシェアの増加を必要とします。グリーンラインに近く、「イスラエル」の水量を確保するために、サルフィート県の町や村は、水が最も豊富な西部盆地に位置しているため、占領当局の標的になっています。イスラエルにそれを完全に制御するための動機を与えます。

## オリーブの会通信 第6号(通巻12号)



国際条約は、基本的権利として水に対する人権を保証しています。この権利を正式に採択するための取り組みは、経済的、社会的および文化的権利委員会（CESCR）が水に対する権利に関する一般意見第15号を採択した2002年にさかのぼり、第1条は次のように述べています。人間の尊厳のある生活。それは他の人権を実現するための前提条件です。」；コメントNo.15はまた、水への権利を、個人および家庭での使用のために十分で、安全で、受け入れられ、物理的にアクセス可能で、手頃な価格の水にアクセスするすべての人の権利として定義しました。これは、2010年7月28日、国連総会が水と衛生に対する人権を認め、宣言し、すべての人権の実現に不可欠なものとして清潔な飲料水と衛生を認めた決議64/292を通じて最高潮に達しました。決議は、国や国際機関に、財源を提供し、能力の構築を支援し、国、特に開発途上国が安全で清潔で手頃な価格の飲料水と衛生設備をすべての人に提供するのを支援する技術を移転することを求めています。イスラエルの占領は人権と国際法に違反しており、国際的な正当性を順守していません。

イスラエルの占領国と合意した水の割合のわずか20%がサルフィートに到達します。

サルフィート市とその周辺の村々は、サルフィートには最大100の湧水があるにもかかわらず、水不足に苦しんでいます。この不足は、これらの水源に対する自治体

や村議会の管理の欠如によるものです。サルフィートは3つの主要な水源に依存しており、そのうちの1つはイスラエルの水会社「マクルート」です。他の2つの源泉は、市内中心部から5kmの距離にあるワディシッカ泉とアルマタウィ泉です。これらは雨に依存する地表水であり、サルフィートの自治体が所有しています。この点に関して、サルフィート市の水道局長は、「これら2つの供給源は、サルフィートに対する市の必要量の25%を供給しており、これは主に雨季の豊富さに依存します。75%は市のニーズのうち、サルフィートの自治体は、イスラエルの会社「マクルート」からこの必要分を購入します。これは、特に果が絶え間ない水不足に苦しんでいる夏のシーズンに、市のニーズをカバーしないことがよくあります。市が所有する水資源の必要性がカバーされるため、冬季には水不足に苦しむ一方、夏には、サルフィート市は、市内の水へのアクセス不足の問題を解決するために危機管理の原則に取り組んでいます。占領当局は、サルフィート市との間で1時間あたり120杯の水を供給するという合意を否認しましたが、「マクルート」は合意された量の50%を供給し、20%にしか達しない可能性があります。ある場合には、「イスラエルは、水不足の理由は次のとおりだと主張している。夏の暑さと干ばつ。その間、入植地から水が遮断されることは決してない。アフアナが言うように、「占領当局は常に水量が不足していると主張しているが、たとえば、「アリエル」入植地の住民の水は1%も遮断されていません。しかし、この不足はパレスチナ人を犠牲にのみ補われますが、入植者は彼らが望むだけ多くの水を消費し続けます。

したがって、イスラエルの占領政府による、個人の毎日の水の消費に関連する世界保健機関（WHO）の基準に対する明示的な違反が見られます。一方、WHOによると、最も基本的なニーズが満たされ、健康上の問題がないことを確認するために、個人は1日あたり50～100リットルの水を必要とします。しかし、この占領当局は、水源へのアクセスを制限し、利用可能な水の量を減らすという人種差別的な政策を続けています。ヨルダン川西岸の入植者による平均水消費量は、ヨルダン川西岸の市民のそれと比較して6～7.5倍であることに注意する必要があります。

サルフィート市の谷間の汚染

占領当局はパレスチナ人を乾かせる政策を追求するだけでなく、都市に隣接する集落も彼らの液体と固体の廃棄物を谷に放出します。入植地問題の研究者であるハレ

ド・マリー博士は、次のように述べています。「入植地は高地にあり、パレスチナ人が居住するのは低地」。問題は廃水だけにとどまりません。むしろ、県内のさまざまな場所で、「バルカン」入植地などの西サルフィート入植地の工場から出てくる有毒物質で汚染されているのを見てきました。アフアナは次のように述べています。「これらの工場は、ヒ素などの有毒物質を含む産業廃棄物を土地に投棄しています。水漏れ、市民の中毒、ガン発症のリスクにつながる原因となっている。サルフィート県では他の都市に比べてガンの発生率が高い。これは、先住民族の権利に関する国連宣言の第29条の最初の段落の明白な違反であり、「先住民族は、環境とその土地の生産能力の保全と保護に対する権利を有している。領土と資源国は、先住民族のために、差別なく、そのような保護と保護のための支援プログラムを確立し、実施するものとする」(p.8、2007)。

占領による地表水の略奪とその汚染はここで止まらず、占領政府は井戸の掘削を禁止しています。1967年以来、占領当局は井戸を掘削する許可の20以上の要求を拒否しました。この禁止は、サルフィート県だけでなく、ヨルダン川西岸のさまざまな県でも行われ、その結果として、地下水が略奪され、マリーが言うように、入植地は「イスラエル人は地下水を汚染することは容易なことではないことを知っているの、彼らはこの水を盗んで入植地に分配し、残ったものは非常に高い価格でパレスチナの村に売られます」。この差別は、国連の権利に関する宣言の第3項の第3段落に違反しています。次のように述べています。農村地域の農民やその他の労働者への、複数の交差するすべての形態の差別が含まれません」(p.6、2018)。

公園から健康災害まで、ワディ・アル・ムタウィ。

市内の主要な水源の1つであるワディアルマタウィは、自然保護区と公園から、「アリエル」の入植地から排水が流れた後、ハエ、昆虫、不快な臭いが集まる健康に有害な集まりに変わりました。ワディアルマタウィで収集。マリーが言うように、牛がこの汚染された水を飲むと、水質汚染が作物や動物製品の汚染につながることに加えて、「下水はマタウィ地域で裸眼で見ることができ、この廃水を浄化すると主張する占領当局の嘘を証明します。」一方、占領当局は、1998年に稼働する予定だった20年間、ドイツ政府とのサルフィート自治体プロジェクトの妨害を含む、水をリサイクルするサルフィート自

治体プロジェクトの邪魔をしてきました。その目標はマタウィ地域での廃水処理計画を確立することですが、占領当局はプロジェクトの作業を阻止し続けました。これは、パレスチナ人が自分たちの土地とその中の資源に対して主権を獲得する権利を明らかに侵害していることです。ジュネーブ第4条約の第53条は、次のように述べています。「個人または集団が個人、国家、その他の公的機関、または社会的または協同組合組織に属する不動産または動産の占領権による破壊は禁止されています。そのような破壊が軍事作戦によって絶対に必要とされる場合を除いて。」(1949年20ページ)。

20年後、県はステーションでの作業を開始することができました。つまり、2018年に、農業労働委員会連合(UAWC)によってアルマタウィとアインサカの泉の修復作業が行われました。新しいポンプの設置と古いポンプのリハビリに加えて、新しい塩素化ステーションの提供、監視、スプリングサイトへのカメラの設置。これらの活動は、小規模農家を支援し、水源へのアクセスを促進するという枠組みの下にあります。このプロジェクトはマドリッド市とスペイン社会振興研究所によって資金提供されたため、県内にあります。

サルフィート市への公式の通知なしに行われている占領による継続的な断水の結果として、今までのサルフィート県は、特に夏に、依然として水不足に苦しんでいます。アフアナは、イスラエルがパレスチナ自治政府に圧力をかけるために、つまり政治的な目的で市民と彼らの水の必要性を利用していることを強調し、マリーは非政府組織と市民社会機関に占領慣行を明らかにするよう呼びかけています。「農業を支援する政府の役割は非常に不十分であり、農業省の予算は、占領犯罪を暴露する際に市民機関が彼らに割り当てられた役割を果たさないという事実に加えて、国際フォーラムで水と農民に対して必要な限度に達していない。

参考文献

赤十字国際委員会 (ICRC)、戦争時の民間人の保護に関するジュネーブ条約 (第4ジュネーブ条約)、1949年8月12日、75 UNTS 287、<https://www.refworld.org/docid/3ae6b36d2.html> [国連総会、農村地域で働く農民およびその他の人々の権利に関する国連宣言：決議 / 2018年9月28日に入権理事会で採択、A / HRC / 39 / L.16、<https://>で入手可

## オリーブの会通信 第6号(通巻12号)

能 [digitalibrary.un.org/record/1650694?ln=en](http://digitalibrary.un.org/record/1650694?ln=en)  
国連総会、経済的、社会的および文化的権利に関する国際規約、市民のおよび政治的権利に関する国際規約および市民のおよび政治的権利に関する国際規約の任意議定書、1966年12月16日、A / RES / 2200、<https://>で

入手可能 [www.refworld.org/docid/3b00f47924.html](http://www.refworld.org/docid/3b00f47924.html)  
国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR)、先住民の権利に関する国連宣言、2013年8月、HR / PUB / 13/2、file :  
/// C : / Users / Jana / で入手可能デスクトップ / Human%20Rights/indigenous.pdf



### パレスチナポップの台頭(2)(BBCカルチャーより) 聞かれる挑戦

もちろん、パレスチナのミュージシャンは常に存在しますが、彼らの極端な状況のために、彼らの作品が聞かれることはありそうにありません。問題の中心は、ローカルインフラストラクチャーの欠如です。パレスチナ自治区で唯一の3つの音楽会場はヨルダン川西岸にあります。そのサイズが大きいため、新興のポップアクトには適していません。このため、コンサートはレストランや仮設ホールで開催する必要があり、これらを音楽に適したスペースに変換できるとは限りません。必要な装備を貸し出す少数の企業は、パレスチナ人の大多数にとって手頃な価格ではありません。投擲イベントは、初期の財政支出の大きさを考えるとリスクを伴います。

パレスチナのミュージシャンにとって重要なハブである他の唯一の会場は、地元の人々とパレスチナのアンダーグラウンドDJ集団であるJazarCrewが運営するイスラエルの都市ハイファにあるKabareetです。4年前の立ち上げ以来、このスポットは、イスラエルのパスポートを持っているパレスチナ人、またはイスラエルを旅行することを許可する書類を持っているパレスチナ人の2番目の家になっています。

文化は一種の平和的な抵抗であり、私たちの文化的アイデンティティと遺産を保護する方法です - ヤブス文化センターのディレクターであるラニア・エリアス

さらに、コンサートは閉鎖されるリスクがあります。パレスチナ自治政府 (PA) は、オスロ合意に基づいて東エルサレムで活動を行うことを禁じられています。イスラエルは、パレスチナ組織がPAと関係があり、都市の

イスラエルの主権を侵害しているという理由で、パレスチナ組織による文化的または政治的活動を禁止することがよくあります。今年初め、イスラエル軍はパレスチナのサッカートーナメントを閉鎖したと報じられ、8月には、パレスチナの作家ソビ・ゴシェの追悼式がヤブス文化センターで行われるのを阻止した。

ヤブスのディレクターであるラニア・エリアスは、BBCカルチャーに次のように語っています。「読書、コンサート、展示会を何度か発表しましたが、イスラエル軍によって止められました」と彼女は説明します。「彼らはイベントの1時間前に兵士と一緒に来て、彼らが持っている情報によれば、私たちはイスラエルの安全に反するイベントを組織しているため禁止するという命令を出しました。」その後、彼女は尋問を受け、センターを一時的に閉鎖するよう求められました。「文化は一種の平和的な抵抗であり、私たちの文化的アイデンティティと遺産を保護する方法です」と彼女は説明します。「それは人々に希望を与えるので、彼ら(イスラエル軍)はこれらの出来事が起こることを望んでいません。」



中東のサイケロックセッションであるTootArdは、今年グラストンベリーで演奏しました(クレジット: David Corio)

BBC カルチャーは、イスラエルの公安大臣であるギラード・エルダグにコメントを求めました。彼の事務所は次のように説明しています。「東エルサレムの住民は、文化やスポーツのイベントを自由に開催できます。平和の街であり、世界中の観光の中心地である首都エルサレムの文化の豊かさを歓迎します。市内での文化イベントの開催に関する法律の唯一の制限は、組織内のイベント、またはイスラエルの敵対的な政治的要因であるパレスチナ自治政府と、イスラエルの主権を弱体化させるためにあらゆる方法で活動するテロ支援者によって後援されているイベントです。」

エルダグの事務所は追悼式の閉鎖を確認したが、次のように付け加えた。「提示されたイベントは、イスラエルの主権を侵害し、東部での地位を強化するために、この種のイベントの開催に関与しているエルサレムでの自治政府の活動の一例にすぎません。エルサレムの住民。この活動は、オスロ合意の実施に関する法律の意図的な Burjal-Luqluq Society も、自治政府との関係を否定し、自治政府からの資金提供を受けていないと主張しています。」

イスラエルの管理下にあるエリアCを除いて、ヨルダン川西岸の他の地域での出来事は、免許を必要としないパレスチナ当局によって監視されています。ただし、許可はセキュリティ担当者に求める必要があります。これは通常、セキュリティ担当者が異議を唱える明確な理由がない場合に許可されます。いずれの場合も、厳密に施行された午前2時の夜間外出禁止令が施行されます。

音楽の録音とリリースも困難です。ラマッラーと東エルサレムにはスタジオがあり、そのうちの1つはムラドが使用していますが、録音機材は恵まれない人々にとって手頃な価格ではありません。高い輸入税は郵便による配達を除外します。それは機材が頑丈でなければならぬことを意味します海外旅行ができる人が参加し、国境を越えて持ち運ぶのは難しいかもしれません。

パレスチナの領土には有名な音楽レーベル Samer Jaradat Entertainment がありますが、著作権法の訓練を受けた人が非常に少ないこともあり、完全に機能している他のレーベルはほとんどありません。これには、アーティストが自己リリースし、Spotify、Deezer、YouTube、Soundcloud などのオンラインプラットフォーム

ムにアップロードして、自分の音楽が視聴者を見つけることをかすかに期待している必要があります。

生きるための基本がないため、音楽に集中するのは難しい - MC ガザ、ラッパ

パレスチナの小さな領土である現金のないガザでは、機会はさらに少なくなります。レコーディングスタジオは少なく、機器はエジプトまたはイスラエルから特別なプレミアムで調達する必要があります。ガザのソルのボーカリストであるハマダ・ナスラは、ギターを買うためだけに所有物売り払わなければならなかったと説明しています。それは、2018年のイスラエルのサイド・ミッシェルセンターの爆撃で破壊されました。

地元のラッパ、MC ガザは、電力不足と飲料水の不足により、「生活の基本がない」ため、「音楽に集中するのが難しい」と述べています。領土を統治するイスラム教組織であるハマスは、オルタナティブミュージックがイスラム教徒の伝統を損なうという理由でイベントを閉鎖します。



Rasha Nahas は現在ベルリンを拠点としており、彼女のファーストアルバム、ロックンロールの親密なテイクが来年リリースされます (クレジット: David Corio)

問題を悪化させているのは、パレスチナ人が直面する移動の制限です。これは、多くの人がギグのために海外に旅行したり、業界の専門家と会ったりすることができないことを意味します。イスラエルに入国するには特別な許可が必要ですが、許可されることはめったになく、特に迅速ではありません。パレスチナ人は長い間、パレスチナ領土の空港にアクセスできませんでした。エルサレムとガザの空港は、千年紀の変わり目に操業を停止しました。そのため、ほとんどのパレスチナ人は、どこにでも飛ぶためにヨルダンに旅行する必要があります。それは、片道約500ドルかかります。

# おいしいパレスチナ

ラマダンのごちそう



## 守ろう！オリーブの木を カンバのお願い



### オリーブ畑再生基金の目的

土地を守ることは抵抗闘争である。  
パレスチナの農民の土地を守る闘い、  
生活を守る闘いを支援します。  
集まった基金は、パレスチナ農業  
労働委員会連合(UAWC)に送ります。

### 郵便振替

記号番号：00960-2-303500番  
名称：オリーブの会(オリーブノカイ)

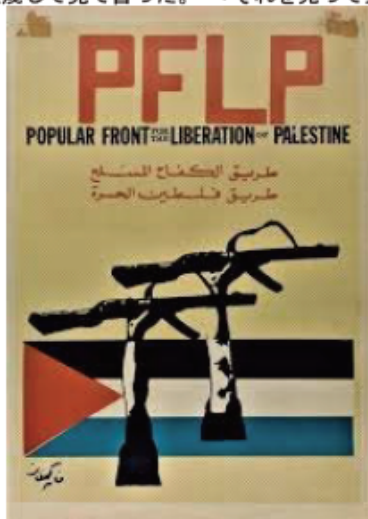
他行等から振り込む場合  
店名(店番)：〇九九店(099)  
預金種目：当座  
口座番号0303500

# パレスチナの詩

モハムード・ダルウィシュ

## 銃と死装束

「誰も私を打ち負かしたり、私に打ち負かされたりすることは決してないだろう」と、覆面をした警備員は、いくつかのあいまいな仕事で起訴された。彼は空中に向かって発砲し、「私の敵が誰であるかを知る必要があるのは弾丸だけです。」空中は同様の弾丸で反応しました。失業者の通行人は、彼らのような仕事から離れて、覆面の警備員の心の中で何が起きているのかに興味がありませんでしたが、彼は防御する平和を見つけられなかったので、彼自身の私的な戦争を求めています。彼は空を見ました、そしてそれは高く澄んでいました。彼は詩が好きではなかったので、空を海の鏡として見ることはできませんでした。彼は空腹で、ファラフェルの匂いを嗅ぐと空腹が増し、銃が彼を軽蔑しているのを感じました。楽園からブドウの房が彼に落ちるかもしれない場合に備えて、彼は空に向かって発砲しました。彼は弾丸によって答えられました、そしてそれは戦いへの彼の抑制された熱意を燃え上がらせました。彼は急いで架空の戦争に突入し、言った。「ついに仕事を見つけました。これは戦争です。」彼は別の覆面をした警備員に発砲し、想像上の敵を攻撃し、足にささいな傷を負いました。ライフルに寄りかかってキャンプに戻ると、殉教したと思って会葬者でにぎわう家を見つけて微笑んだ。彼は言った：「私は死んでいない！」彼らが彼は彼の兄弟を殺したと彼に知らせたとき、彼は彼の銃を軽蔑して見て言った。「それを売って兄にふさわしい死装束を買うつもりです。」





4月3日、京都府部落解放センターで土地の日企画 太田昌国さん講演会を開催しました。コロナ禍にも拘わらず、多数の方の参加をいただきました。



エルサムのラマダン。入植者の挑発とイスラエル軍の弾圧に怒りが爆発(4月23日)



ベツレヘムのイースターの祈り  
東方教会のイースター

## 今号の内容

混迷するイスラエルの組閣・・・・・・1

ネタニヤフは、政府の形成を阻止されるのか?・・・・3

パレスチナの選挙の行方・・・・・・4

カイロに集まった人々へのメッセージ・・・・・・6

UAWCの2月レポート・・・・・・9

パレスチナポップの台頭(2)・・・・12

おいしいパレスチナ・・・・・・14

パレスチナの詩

モハムド・ダルウイシュ・・・・15

